

財政危機対応プログラム
ウェビナー「今後の金融政策と国債市場」
ディスカッション

2024年11月26日

東京財団政策研究所 加藤創太

I. 当面の政策金利引き上げの見通し

論点：政策金利引き上げの当面の見通しは？ 日銀が想定する（現時点での）中立金利の水準は？ （金利引き上げによる）中立金利到達の時期の見込みは？

論点：政策金利引き上げのプロセス（スケジュール）に大きな影響を与えうる要素は？ 物価水準、賃金水準、為替レートなどとの相互の影響は？

論点：石破政権＋少数与党体制の影響は？

II. 日銀の国債購入減額による国債市場などへの影響

論点：購入者の変化（日銀→銀行（メガバンク・地方銀行）、海外、個人等）による市場などの変化とその影響は（国債市場の安定性への影響、国債デュレーションの変化とその影響等）？

論点：日銀の国債購入減額による需給状況の変化により、長期金利はどれくらい上がるか？

論点：債券価格下落に伴う銀行など金融機関の活動・経営への影響は？

論点：「望ましい最低準備預金」など日銀による新たな枠組み設定の可能性は？

III. 財政問題への影響他

論点：長期金利上昇により、国債利払費増加など各種ルートを通じ財政がさらに悪化する
ことの影響は？ たとえば、それを緩和するために日銀が金融正常化のペースを緩
める可能性は？ その（日銀法に沿った）ロジックは？

論点：金融正常化やIRRBB規制などの影響により、国債市場（長期金利）に非連続的な変
化が生じる可能性は？ その現れ方は？ 非連続変化の起点として考えられるもの
は？ そうした際、日銀が金融正常化を後戻りさせることで金利上昇は抑えうる
か？

論点：日銀の保有ETF売却の見通しは？

論点：トランプ新政権の金融政策及び国債市場への影響は？